

NPO法人 Reframe チーム

チームテーマ

地域の子どもたちと共にインクルーシブな社会について考えてみよう！

主な活動場所

くらはら庵、ゆらり庵（JR「円町」駅から徒歩5分）他



学生×地域
つなげる未来
プロジェクト

チーム紹介

元気いっぱいな子供たちを見守り、サポートしながら、
遊ぶときは全力で！

メンバー

河合 美里



佐藤 凜佳



利根川 優



野崎 菜々香



廣瀬 莉奈



NPO法人Reframe
朝倉 美保さん



活動紹介

8月3日 夏祭り

普段、居場所や子ども食堂に参加している
ボランティアの学生と共に、テント設営、
ゲームのルール作り等

普段くらら庵・ゆらり庵に通っていない地域
の子どもたちも一緒にゲームを楽しむことが
できました



活動紹介

9月16日/17日 くらら庵ゆらり庵

くらら庵

- ・ゲームをしている子どもたちの見守り
- ・遊び方や状況を説明してくれるようになり、一緒に画面をのぞき込んで話してくれるように



ゆらり庵

- ・ネイルや折り紙、編み物
- ・お昼ご飯はレシピ本から作るものを考え、必要な食材を書き出し、買い物や調理などを子ども主体で行いました

活動紹介

11月23日 大学生と遊ぼう！梅小路公園芝生広場

ドッチビー、縄跳び、王様ゲーム、かくれんぼ

全力で走り回る子どもたちに負けないよう大学生
も必死に追いかけてました

公園に遊びに来ていた子どもも
飛び入り参加し、作戦を立て
ながら全力で遊んでいました



3



活動紹介

1月4日 餅つき大会

餅つき体験を地域の人々で行い、
つきたてを焼いて提供

普段はできない貴重な体験を前に、
子どもたちも積極的につき、自由な
トッピングで味付けしたお餅をおい
しそうに頬張っていました



3月8日 であいひろば 中京区社会福祉協議会

※参加予定

私たちが感じた魅力

- ・子どもたちの第3の居場所としてサポートするとともに、その親の支えとなっている
- ・子ども食堂は、食べに来る人、持ち帰る人にとっての助けとなるだけでなく、調理する側も会話をしながら地域とつながる場になっている
- ・夏祭りや餅つき大会等のイベントや、定期的に行われる子ども食堂が地域コミュニティの創出の場となり、子どもたちを見守る「目」となって安心安全な街へとつながっている
- ・子どもの自由を尊重しつつ、みんなが心地よい空間であるために様々な工夫がされている

私たちが感じた団体や地域への影響・成果



- ・少しでも活動に参加したことで、この活動の力になれたと感じるとともに、子どもたちや地域の方々と関わる中で、活動の大切さを改めて実感した
- ・温かく迎え入れてくれる安心感が地域への安心感へとつながると考え、常に笑顔を意識し、通りかかった地域の人々も巻き込んで明るいイベントづくりを行った
- ・挨拶を基本とし、常に自分にできることは何かを考え行動に移すことができた

感想



- ・子ども達が生き生きと楽しそうに過ごしており、安心できる居場所があることの大切さを実感した。
- ・普段関わる機会の少ない年代の子どもたちとの交流を通じて、不登校等の問題についてより関心がわいた。
- ・ゲームだけではなく、ハイキングや外遊びなど体を動かす活動や、子どもたちだけでメニューを決め料理をする自主性を育てる活動など、様々な機会に触れる工夫が素晴らしいと感じた。